

THE JUJINOSONO Social Welfare Corporation

夕暮れになっても光がある



社会福祉法人 十字の園

十字の園の理念

聖句 「夕暮れになっても光がある」(ゼカリヤ書14章7節)

初代理事長 鈴木生二が、十字の園の仕事を始めるにあたって選ばれた聖句です。夕暮れは終末の時です。人の終末とは「終わり・死」です。聖書は「死」では終わらない、イエス・キリストとつながる「永遠の命」があり、それは実在する(光がある)と言います。しかし、現実には、苦悩や差別、死があります。その中でも、イエスが示される慰めと希望があると伝え、苦難の中の人々に仕える事で、永遠の命の喜びが実在する世界の実現を目指し、次の言葉を理念とし実行していきます。

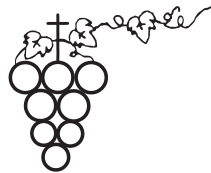
「人格を尊重し、生きる喜び、生きる自由、生きる希望を創ります。」

十字の園行動規範

- ・私たちは、一人ひとりの命と個性と権利を大切にします。
- ・私たちは、支援の必要な方に積極的に歩み寄り、必要な支援を届けます。
- ・私たちは、常に自己研鑽に励み、互いに力を発揮し合い協力して支援します。
- ・私たちは、安心、安全な職場環境を整えます。
- ・私たちは、誠実で公正かつ適正な経営を行います。

大切にされている聖句

わたしはぶどうの木、
あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、
わたしもその人につながっていれば、
その人は豊かに実を結ぶ。
わたしを離れては、
あなたがたは何もできないからである。



I am the vine.
You are the branches.
He who remains in me,
and I in him,
the same bears much fruit,
for apart from me
you can do nothing.

ヨハネによる福音書 15章5節

JOHN 15:5 World English Bible

ごあいさつ

社会福祉法人十字の園は、戦後復興に向かう中で、ドイツから復興支援のために来られた奉仕女(ディアコニッセ)の一人、ハニ・ウォルフ姉妹が、その基礎を据えて下さいました。ハニ姉妹は、孤独と死を見つめ失望の中で生きる高齢者に出会い、その方々にイエス・キリストが仕えたように仕え、そのイエス・キリストが示された愛による希望を、失望の中で生きる人に伝えたいと願いました。制度や仕組みがないなら私がやらなくてはと、祖国で献金を募りました。この願いが形となり、1960年12月28日に法人の認可を受けました。高齢者の福祉を行う施設として建設を進めましたが、老人福祉法のない中でしたので、生活保護法の施設として1961年1月20日に十字の園老人ホーム(定員30名)の事業が開始されました。私たちの働きが、時代の中で必要なものとなり、1963年の老人福祉法施行に伴い、特別養護老人ホームとして認可されました。その後は、静岡県内の各地の教会の祈りから、特別養護老人ホームをはじめとする施設の開設、運営の希望があり、それに応える形で県下に広がっていきました。

(十字の園の歩みをご覧ください) 各地域に拠点施設ができる中で、それぞれの地で、地域に必要な在宅サービスも広がって行きました。

私たちは、十字の園の名前にある様に、はじめに据えられたイエス・キリストの十字架の下にある喜び、自由、希望を共に分かち合いながら、理念に示される永遠の命につながる希望の実現を、目指してまいります。

理事長 鈴木 淳司



十字の園の歩み

1940 昭和15	1950 昭和25	1960 昭和35	1970 昭和45	1980 昭和55	1990 平成2	2000 平成12	2010 平成22
ドイツより「ディアコニッセ」5名来日		十字の園老人ホーム建設開始 生活保護法による十字の園老人ホーム（定員30名）開園 御殿場十字の園（定員50名）開園		伊豆高原十字の園（定員50名）開園 ケアハウス アドナイ館（定員50名）開園		2000年（平成12） 〈4月〉介護保険法施行。介護保険による事業開始。 〈10月〉ケアハウス 御殿場アドナイ館（定員30名）開園。 2002年（平成14） 〈4月〉松崎十字の園（定員50名 併設身障療護20名）開園。 2003年（平成15） 〈4月〉御殿場十字の園・伊豆高原十字の園、身体障害者ヘルパー及び精神障害者ヘルパー事業開始。 2004年（平成16） 〈4月〉伊豆高原十字の園、児童ヘルパー事業開始。 2005年（平成17） 〈4月〉伊東市立養護老人ホーム（定員50名）受託経営開始。 〈11月〉御殿場十字の園「介護タクシー」事業開始。 2006年（平成18） 〈4月〉御殿場十字の園・伊豆高原十字の園、地域包括支援センター受託事業開始。 〈11月〉御殿場十字の園、相談支援事業・移動支援事業開始。 伊豆高原十字の園移動支援事業開始。 2007年（平成19） 伊東市立養護老人ホーム特定施設入居者生活介護事業（定員20名）、通所介護事業（定員10名）、訪問介護事業開始。 2008年（平成20） 浜松十字の園地域密着型小規模多機能事業開始。 民間デイサービス「根洗荘」運営開始。 2009年（平成21） ユニット型ケアハウス 第2アドナイ館（定員20名）開設。 2011年（平成23） 伊豆高原十字の園全面移転による全室個室ユニット型（定員90名、短期10名）総合福祉施設として事業開始。 2014年（平成26） 〈2月〉第2アドナイ館 リハビリ特化型デイサービス「ぶらすワン」開始。 〈4月〉御殿場十字の園 認知症対応型グループホーム「笑みの里」（定員18名）開所。 2015年（平成27） 〈12月〉「ケアプランセンター一碧」事業開始。 2018年（平成30） 〈4月〉社会福祉法改訂。（理事会・評議員会・監事・会計監査人：組織改変）。 〈8月〉御殿場十字の園地域包括支援センター(2箇所目)受託事業開始。 〈10月〉ディアコニッセ 光子姉妹召天。 2019年（平成31） 〈3月〉平井章理事長辞任。 浜松ディアコニッセ母の家・十字の園歴史資料館開設。 〈4月〉鈴木淳司5代目理事長就任。	
1934年（昭和9） 「イエスの友会」全国大会にて、ディアコニッセの働きを紹介する「もの言う手」が上映される。 1945年（昭和20） 鈴木生二、（財）聖隷保養農園に勤務開始。 1946年（昭和21） 西ドイツブレーメン教区長P.G.メラー牧師来日。 賀川豊彦、長谷川保に会い、日本委員会がディアコニッセの派遣を準備。 1953年（昭和28） ドイツよりディアコニッセ5名と婦人宣教師来日。 1954年（昭和29） 浜松ディアコニッセ母の家設立。 鈴木生二、創設された聖隷厚生園の次長（実質上の施設責任者）就任。 ハニ・ウォルフ姉妹、看護婦養成所臨時教務主任代行となる。 市川一二三、山浦ミツ、立志式で日本人第一号のディアコニッセとなる。 1959年（昭和34） ハニ・ウォルフ姉妹一時帰国する。		1960年（昭和35） 十字の園老人ホーム建設開始。 〈11月〉社会福祉法人聖隷保養園より敷地2,406坪の無償譲渡を受ける。 〈12月〉社会福祉法人十字の園設立認可。 初代理事長に鈴木生二就任。 1961年（昭和36） 〈1月〉生活保護法に基づく保護施設十字の園老人ホーム（30床）開園。 長谷川保氏（当時衆議院議員）のすすめにより、厚生省社会局長視察。老人福祉法制定の足がかりとする。 1963年（昭和38） 〈8月〉老人福祉法施行。 1964年（昭和39） 生活保護施設から、老人福祉法「特別養護老人ホーム」として認可。 1966年（昭和41） 〈3月〉ハニ・ウォルフ姉妹帰国、県知事表彰。 〈4月〉知的障害児施設「小羊学園」開園。 1971年（昭和46） 〈4月〉御殿場十字の園開園（定員50名）、園長鈴木生二就任。 十字の園老人ホームの園長に綿鍋義典就任。 〈8月〉皇太子ご夫妻、御殿場十字の園ご訪問。 1972年（昭和47） 〈7月〉皇太子ご夫妻、十字の園、小羊学園ご訪問。 1974年（昭和49） 〈7月〉浜松十字の園第4期増設工事落成（定員120名）。 〈8月〉御殿場十字の園第2期増設工事落成（定員100名）。 1978年（昭和53） 〈12月〉御殿場十字の園ショートステイ開始。				1981年（昭和56） 〈4月〉伊豆高原十字の園（定員50名）開園、園長鈴木生二就任。 御殿場十字の園園長に森本節夫就任。 法人事務局の機能を強化し、各施設の事務を統合。 1982年（昭和57） 〈9月〉伊豆高原十字の園ショートステイ開始。 1986年（昭和61） 〈1月〉林富美子（御殿場十字の園医師）朝日新聞社会福祉賞受賞。 1987年（昭和62） 〈5月〉御殿場十字の園「御殿場市高齢者介護ホーム」事業開始。 〈10月〉特別養護老人ホーム十字の園を「浜松十字の園」に改称。 1988年（昭和63） 〈8月〉綿鍋義典理事長就任。 〈9月〉鈴木生二召天。 1989年（昭和64） 〈3月〉御殿場十字の園地域福祉センター完成、「痴呆性老人生活指導ホーム」開始。 1993年（平成5） 〈4月〉ケアハウスアドナイ館（定員50名）開園。 1994年（平成6） 〈4月〉長谷川保召天。 1996年（平成8） 〈4月〉森本節夫理事長就任。 〈10月〉ハニ・ウォルフ姉妹召天。 1999年（平成11） 〈4月〉浜松十字の園増築工事。ショートステイ20床、デイサービス、ヘルパーステーション開設。 〈9月〉平井章理事長就任。	
※ディアコニッセ 〔独〕Diakonisse：奉仕女。人々の救済を業とする教會的役職のひとつ。							

十字の園のはじまり



「社会福祉法人聖隷保養園」に働く人たちの中から、聖隷創業時の純粋な精神を継承しつつ時代の新しい要請に応えようと自然に集まった人たちが、「十字の園」を誕生させる原動力となりました。その中心となったのが、「浜松ディアコニッセ母の家」の姉妹たちでした。

ディアコニッセと十字の園

日本と同じ敗戦国であるドイツのプロテスタント教会のP.G.メラー牧師（ブレーメン教区長）が日本の社会状況視察のため、1946（昭和21）年に来日しました。戦災孤児に心を痛めた牧師の「必要ならドイツのディアコニッセを派遣する。」という申し出に、



長谷川保氏が引き受け、ディアコニッセの来日が決定しました。1953（昭和28）年11月、5人のディアコニッセと1人の女性宣教師が横浜港経由で浜松に到着しました。聖隷保養園を手伝いながら、日本語の勉強を続け、そして「浜松ディアコニッセ母の家」を結成します。ディアコニッセたちの中でもシュヴェスター ハニ・ウォルフ（以降ハニ姉妹）は、日本語を少し習得していたこともあって、どこへでも自ら一人が入り、優れた能力を発揮しました。やがて彼女の存在が十字の園誕生のきっかけとなっていきます。

老人ホーム建設へ

聖隷保養園で看護婦として忙しく働いていたハニ姉妹は、ある日「聖隷保養園で長い間結婚しないで働いてきた人はディアコニッセと同じです。その人たちが年を取ったらどうするのですか。私たちは考えないといけないのではないのでしょうか。もうすぐ年を取った人たちが段々増えてきますよね。」と、高齢化社会のことなど考えもしなかったこの時代に、日本はドイツより10年遅れていると仲間たちに語りかけました。1957（昭和32）年の夏のある夜、ハニ姉妹が渋川の山小屋で憩っていた時に、台風が襲来しました。激しい雷雨によって崖崩れが起こり、山小屋のそばまで大きな石が落ちてきたのです。九死に一生を得たその時、ハニ姉妹は「大きな家に一人で寂しく寝ているおじいさんやおばあさんに会う」という夢を見ました。この夢をきっかけに、ハニ姉妹は「私たちの老人ホームはやはり一人で寝ている老人のために先にしなければなりません。神様は私にそのことを命じています。」と話し、現在の形の介護老人ホームの設立に一歩踏み出していきます。

ハニ姉妹が募金活動で建設資金を確保

構想している老人ホームを現実のものとするため、ハニ姉妹はその資金を祖国ドイツに求めようと準備を開始します。日本の風俗や人情、生活を紹介する芝居を上演してドイツ国内を回り、献金を募ろうという計画でした。1959（昭和34）年1月、ドイツに一時帰国します。各地の母の家や教会を巡り、600万円の献金を得て4月に再び浜松に戻りました。この献金額は当初見込まれていた建設資金516万円を上回っていました。

聖隷とは別の法人組織に

老人ホームのあり方を考える会合を重ねていく中で、ハニ姉妹は「老人ホームは聖隷の法人ではなく、別の法人を作ってやりたいと思います。聖隷はとても大きな施設がたくさんあり、長谷川先生はもっと大きく広げてくことでしょ。長谷川先生がいなくなったら、信仰の力より人間の力の方が強くなってしまい、神様の力ではなく人間の力で全てを行うようになってしまいます。老人ホームはいつまでも神様の力でやりたい、老人ホームで働く人は、皆キリストの十字架の下でだけ一つになって働く団体にしたいと思います。そのために別の法人にしたいのです。」と話しました。同志である仲間たちも賛同し、別法人となることが決まりました。また、この主旨から「十字の園」という名前になったのです。そして十字の園は1960（昭和35）年12月に、社会福祉法人としての認可を得ました。

鈴木生二 初代理事長に

1959（昭和34）年9月、母の家理事会において老人ホーム創設準備責任者に鈴木生二が推薦されました。ハニ姉妹が提議した病氣を持った寝たきり老人の窮状を救うことを自分に与えられた課題として受けとめた鈴木は理事長として全身全霊を傾けて取り組みました。この「伝道と奉仕」の働きは、1988（昭和63）年に召天するまでの29年間続きました。また、十字の園の敷地2,406坪は、1960（昭和35）年11月、社会福祉法人聖隷保養園から一坪献金運動で得た資金で入手した敷地の一部を無償で譲渡されたものです。1961（昭和36）年1月に、待望の日本初の老人ホーム（定員30名）を開設し、園長以下7名で奉仕を始めました。

介護方針はナーシングホーム

ハニ姉妹は、故郷ドイツの科学的合理主義をバックボーンとしたナーシング方式を採用しました。自立支援に向け利用者の尊厳を守り、一人ひとりに向き合い、その意思を尊重して必要とされるサービスを積極的に提供することを目指したのです。他の老人ホームとは異なり、大勢での団体行動や規律を重視するのではなく、家族主義を第一としたお世話を心掛けました。このナーシングホームの介護方針が全ての十字の園で実践されています。



多くの方の励ましと支援に支えられて

十字の園は寝たきり老人の介護を通して、社会福祉の種を蒔き、広げる役割も果たしました。開園直後から長く愛の散髪奉仕を続けていただいた理髪店ご一家、入所者と文通等の交流をしていただいた中学生、劇や歌等で慰問していただいた日曜学校の子供たち、施設での奉仕活動や募金活動に積極的に協力していただいた青年団や婦人会の方々等、すべて忘れられない人たちや出来事ばかりです。



1971年（昭和46年）8月 当時の皇太子ご夫妻が御殿場十字の園を訪問。



1984年（昭和59年）11月 ノーベル平和賞を受賞されたマザー・テレサが浜松十字の園を訪問。

一粒の実がたくさんの花を

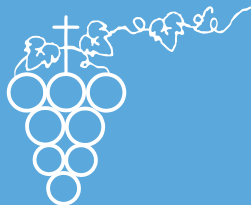
1961（昭和36）年に開園した特別養護老人ホームは、鈴木生二の「安住するな」「初心に還れ」の姿勢により、1971（昭和46）年に御殿場十字の園、1981（昭和56）年伊豆高原十字の園、1993（平成5）年アドナイ館（ケアハウス）、2000（平成12）年御殿場アドナイ館（ケアハウス）、2002（平成14）年松崎十字の園、2005（平成17）年に伊東市立養護老人ホームの受託経営、そして2009（平成21）年に第2アドナイ館（ケアハウス）を開設するなど福祉の枝を伸ばし、葉を繁らせています。これら十字の園の活動について、監督官庁は「生活保護法の時代に、既に主として寝たきり老人を対象とする養老施設が創設されていた。それは静岡県内の十字の園である。これは老人福祉法の特別養護老人ホームの原型として記憶されるべきである。」と評価し、我が国最初の特別養護老人ホームとの見解を示しています。

ハニ・ウォルフ Hanni Wolf

1914 年（大正3）5 月 5 日	イギリスリバプール生まれ。 父が早くなくなったため、家族はドイツへ。ハニ姉妹は兄弟 たちとドイツで育つ。
第二次世界大戦中 1946 年（昭和 21）	栄養士の資格を生かし、家庭の食事等の相談の仕事に従事。 シュベスターとしてディアコニッセに加わる。 病気の人たちの看護を行う。
1949 年（昭和 24） 1953 年（昭和 28）11 月 1954 年（昭和 29）	母の家姉妹団に参加を決意。 ディアコニッセとして祝福式を受け、日本へ。 聖隷准看護婦養成所臨時教務主任代行。 第 1 回「浜松ディアコニッセ母の家」理事会開かれる。 第 1 期母の家姉妹たちの教育課程を実施。
1956 年（昭和 31） 1957 年（昭和 32） 1959 年（昭和 34）	ハニ姉妹以外のディアコニッセ次々帰国へ。 ハニ姉妹一時帰国（1 月～ 4 月）。 ドイツ滞在中、老人ホーム建設のため、献金を募り 600 万円 の献金を受ける。
12 月 29 日 1961 年（昭和 36）1 月 1966 年（昭和 41）3 月	法人設立 老人ホーム創設準備会開かれる。 十字の園開園。 ハニ姉妹帰国。 帰国後、アゼンハイムの老人ホーム責任者として働く。 70 歳からはミュンスター母の家で事務仕事や、会計、教会 の献金の仕事を担当。
1996 年（平成8）10 月 27 日	召天。

鈴木生二 Seiji Suzuki

1918 年（大正 7）7 月 6 日 1945 年（昭和 20）12 月 1947 年（昭和 22）1 月 1949 年（昭和 24） 1954 年（昭和 29）9 月 1959 年（昭和 34）9 月	静岡県引佐郡伊平村生まれ。 財団法人聖隷保養農園に勤務。 山浦フミと結婚。 結核を患い都築先生による外科手術成形充填第一号となる。 聖隷厚生園創設 次長（実質上の責任者）。 「母の家理事会」にて老人ホーム創設準備責任者に推薦さ れる。
11 月 12 月 24 日	母の家の一室で準備事務に。 鈴木氏が法人設立、老人ホーム建設について県庁から内諾 を得る。
1960 年（昭和 35）3 月 10 月 12 月 4 日 12 月 28 日	ハニ姉妹と十字の園設立に専念。 フミ夫人病院での看護婦の仕事をやめ老人ホーム開設に従事。 綿鍋義典氏老人ホーム設立準備に加わる。 献堂式。
1961 年（昭和 36）1 月 1971 年（昭和 46）4 月 1981 年（昭和 56）4 月 1985 年（昭和 60）2 月 1988 年（昭和 63）7 月 1988 年（昭和 63）9 月 17 日	社会福祉法人十字の園創立、理事長に就任。 十字の園開園。 御殿場十字の園を開園。 伊豆高原十字の園を開園。 発病。 理事長退任。 召天。



社会福祉法人 十字の園施設要覧

社会福祉法人十字の園は 1961（昭和 36）年以來、静岡県内において地域の要
請に応じ、高齢者・障がい者施設を設け、事業を運営しております。

社会福祉法人 十字の園 法人本部

〒 433-8105 浜松市中央区三方原町 3014-1
TEL 053-414-1400 FAX 053-420-2100 <https://www.jyuji.or.jp>

浜松地区

特別養護老人ホーム 浜松十字の園（ショートステイ）
デイサービスセンターみをつくし

〒 431-1304 浜松市浜名区細江町中川 7220-11 TEL 053-436-9535

ケアハウスアドナイ館 細江デイサービスセンター

〒 431-1304 浜松市浜名区細江町中川 7437-8 TEL 053-439-1200

介護型ケアハウス 第 2 アドナイ館 リハビリ特化型デイ ぷらすワン

〒 433-8105 浜松市中央区三方原町 3014-1 TEL 053-582-8181
浜松十字の園居宅介護支援事業所 ヘルパーステーションほそえ
〒 433-8108 浜松市中央区根洗町 456-5 TEL 053-430-5900

東部地区

特別養護老人ホーム 御殿場十字の園（ショートステイ）
デイサービス ホームヘルプサービス 居宅介護支援事業所
障がい者デイサービス 御殿場十字の園診療所

ケアハウス 御殿場アドナイ館
〒 412-0023 静岡県御殿場市深沢 1465-1 TEL 0550-83-1999

御殿場市地域包括支援センター 御殿場十字の園

〒 412-0028 静岡県御殿場市御殿場 184-1 TEL 0550-84-5950

御殿場市地域包括支援センター さくら通り

〒 412-0042 静岡県御殿場市萩原 1180 番地 6 TEL 0550-70-3331

グループホーム 笑みの里

〒 412-0004 静岡県御殿場市北久原 578-3 TEL 0550-82-8886

特別養護老人ホーム 伊豆高原十字の園（ショートステイ）

デイサービスセンター ホームヘルプサービス 居宅介護支援事業所
地域包括支援センター 配食サービス 介護予防事業 生活支援体制整備事業
〒 413-0232 静岡県伊東市八幡野 1028-4 TEL 0557-54-1613

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜（ショートステイ）

デイサービス ホームヘルプサービス 居宅介護支援事業所
生きがい支援デイサービス事業 大池デイサービス
〒 414-0051 静岡県伊東市吉田 825-1 TEL 0557-45-0586

一碧の杜 くつろぎの家
デイサービス

〒 414-0052 静岡県伊東市十足 611-115 TEL 0557-44-1715

特別養護老人ホーム 松崎十字の園（ショートステイ）

デイサービス ホームヘルプサービス 居宅介護支援事業所
障がい者総合支援事業 オリブ（ショートステイ）
障がい者デイサービス 相談支援事業
〒 410-3624 静岡県賀茂郡松崎町江奈 157 TEL 0558-43-3131

就労継続支援 B 型 ワークショップ マナ

〒 415-3515 静岡県賀茂郡西伊豆町田子 965-1 TEL 0558-53-0123

HP アドレス



十字の園



浜松十字の園



アドナイ館



第 2 アドナイ館



御殿場十字の園



御殿場アドナイ館



伊豆高原十字の園



伊東養護平和の杜



松崎十字の園